

1. 件名

日本原燃(株)MOX施設の新規制基準適合性に関するヒアリング(339)

2. 日時

令和2年6月23日(水) 10時30分～12時30分

3. 場所

原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、建部主任安全審査官、平野主任安全審査官、藤原安全審査専門
職

日本原燃(株)

藤田 執行役員 燃料製造事業部 副事業部長 他13名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

「設計基準事故及び重大事故の評価の考え方」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁のタテベですとそれはMOX加工燃料施設のAと設計基準事故及び重大事故の評価の考え方について案を日本原燃から説明をお願いいたします。
0:00:12	日本原燃の石原でございます。それでは資料に基づきまして、設計基準事故及び重大事故の評価の考え方について御説明をさせていただきます。
0:00:23	まず設計基準事項でございますが、前回の審査会合において御説明しました設計基準事故の選定結果を踏まえまして、1ポツにあります通り露出した状態でMOX粉末の取り扱い火災原因となる潤滑油を保有している8基のグローブボックスのうち、
0:00:41	一基のグローボックスにおいて単独で火災が発生する火災の影響でグローボックス内のMOX粉末が飛散し、火災の駆動力で外部に放射性物質が放出される事象を設計基準事故として選定をしておるということでございます。
0:00:56	この選定した設計基準事故の評価につきましては、その結果が最も厳しくなる同定機器の単一故障仮定をするということ。またその判断基準でございますが、公衆に対し著しい放射線被ばくを与えないこととしまして、
0:01:12	発生事象当たり5mSvを超えないことを確認するということでございます。
0:01:19	続きまして、2ポツの評価で代表事例でございますが、先ほどありました対象8基のグローボックスがありますので、事象の進展が同様であるということと、拡大防止等として期待する設備がいずれもいずれのグローボックスでも同じだということから、
0:01:36	設計基準事故の評価につきましては、公衆への放射線被ばくリスクが最も厳しくなるグローボックスとして、そのグローボックス内取り扱われるマキ期中のプールと流量が最も多い予備混合装置グローボックスを代表として評価をいたします。
0:01:52	そのグローボックス内において核燃料物または機器というのは、また、機器または粉末容器収納されていて直接火災の影響を受けるということなんです。が、粉末容器自体に若い構造でありまして、これを踏まえて、粉末容器に保有する粉末が朝の影響を受けるということを想定してございます。
0:02:15	K次に事故の特徴でございますが、こちらは先ほどお話ししました潤滑油を内包しているグローボックスにおいてそれを火災元として対角火災が発生して設計基準対象施設でありますグローボックス温度監視装置の感知により、
0:02:34	火災を感知するということと、グローボックス排風機による排気を維持した状態でグローボックス消火装置により消化ガスであります地層か数字通り奉

	仕して窒息消火ということを実現するということでございますこれが設計基準でいうと、
0:02:51	感知消火の流れでございます。すいません。はい規制庁平野です。SiO本日は、患者来週火審査会合があって、その資料の準備状況であったり、あとそれに関してちょっと補足的に事実を説明するところがあれば、
0:03:10	まず説明いただく場ではないのかと思っていてですね、資料は貯まる多いこと説明というのは、特に不要ではないのかというふうに思っていますと、
0:03:21	ですので、はい。
0:03:25	何ていいですかねあくまでその資料の準備状況等、あとそれに付随して今まで審査会合に向けて、論点としてこういうことを整理して欲しいといったようなぐらいいであったりそういうところを我々のほうから伝えているかと思しますので、
0:03:40	それに対してどういうふうに整理をしまして審査会合に対してもこういうものを出そうとしているといったところを中心に説明いただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。
0:03:52	はい。了解いたしました。日本原燃西原でございますが、し、今の御指摘踏まえまして、まずは準備の状況としては、項目ごとに論点となる部分もしくは概要をさらっと説明させていただきます。
0:04:09	次のシナリオところは先ほどの時設計基準事故の感知消火の流れに対するどういう設備を期待するのかということと、先ほどありました単一故障の話でグローボックス排風機の単一故障を考えるということ
0:04:27	記載をしてございます。これは今まで御説明していった内容と同じでございます。
0:04:33	評価条件でつくってございますが5ポツのところにつきましてはこれまで等もグローボックス対象となるグローボックス内にあるすべてのMOX粉末の対象ということで整理をしてきましたが、先ほど御説明させていただいた通り、容器構文の
0:04:50	MOX粉末を対象にして評価をしてございます。
0:04:54	そのパートにあります消火に管理職が完了するまでの時間は来5条で御説明させていただいている酸素濃度が消炎濃度に到達するまでの時間プラスグローボックス排風機が起動するまでの時間を足し込んだ形で評価をするということでございます。
0:05:12	あとは
0:05:14	気相への割合ですとか移行割合ですとかDFはこれまで説明している内容をそのまま整理をさせていただいたということでございますが、結果は前回から触ってまして5.4掛け10のマイナス8乗ということでございます。

0:05:28	こちらについては、前回の選定を受けた形の流れになりますので、あとは、後程説明します重大事故との関係で書くべきところは整理をさせていただいて書いたつもりでございます。その次の重大事故でございますが、重大事故も前回の選定を受けた形で、
0:05:48	整理をさせていただいてございます。
0:05:52	来凸はまあ再処理でも記載をしていた基本的な有効性評価の基本的な考え方でございます。2 ポツからが火災の特徴ですとかその対策の中身の説明でございませう。
0:06:06	2.1 のところ 27 事故の特徴ということで火災が起こってからの核燃料物流れとこのことを書いてるんですが、ここについてはこれまで御説明してきた内容書いてるところでございますけども、今東邦で準備している限りまだ足りてないところがあるという認識をしてございませう。
0:06:24	そこはどこかといいますと、2 段落目のところで、消火前の間に火災の上流上昇気流によって液相へ移行する粉末があるといった後にグローブボックス排気系に行く経路に加えて工程にすぐ減って高低差廃棄設備の構成のヒートアップで、
0:06:42	外部に出るとこのことを書いてるんですが、ここが火災の発生等工程遂行性というのつながりが情報がなくて、ここはペーパー足させていたこうと思って今整理をさせていただいてございませうが、火災によるグローブボックスの内圧上昇がどのぐらいあるのか、それによって、
0:07:02	圧が上がった部分で肯定する側に出るパスが生じるというようなことがわかるような記載にしたいと思っております。
0:07:12	あとは訂正漏えいした以降は前回口頭でも説明させていただきましたが、空気の膨張により吸気レターが出ていく分と損傷がある場合はその分わかり可能性があるのでパスを書いています。
0:07:27	あと、火災原因となる潤滑油の火災の状態についてはまた書きで 4 ページの下に書いてある通りでございませう、
0:07:38	我々が使う潤滑油自体引火点が高いということと、潤滑油へ引火点を維持することが非常に困難だということで全面火災が継続すること自体は考えづらいんですが、
0:07:50	ということな前提に書いたのか、4 ページの下の文章でございませう、だから評価上はこの後出てきますが、計算条件としては非常に理想的に燃えた条件も踏まえた上で必要な有効性評価なりを検討するというところで整理をさせていただいてございませう。
0:08:09	あと有効性評価の代表 5 ページでございませうが、こちらも選定を受けた形で整理をさせていただいてるんですが、1 点、

0:08:18	5 ページの下から 3 分の 1 ぐらいですから跨ぎがあるんですが、前回の選定のときに御指摘いただきました。重大事故の内的事象の選定において、当方としては動的機能多重故障等を
0:08:35	金とするという御説明をさせていただきましたが、THAIご質問いただいた、いわゆる設計基準事故の機能喪失に加えという部分の意味が、
0:08:46	APSの機能喪失に加えて、火災という異常事象を発生させるという条件にさらに加えて重ね合わせると、機能喪失をという御説明をさせていただいたことを考えますと、
0:08:59	長時間の全交流電源喪失というの、それによって組み合わせとしてはあり得るということで整理をさせていただいてございます。
0:09:06	そうしますと、系統的の多重故障する範囲が全交流電源喪失が最も広くなりますので、内的事象の代表事例は全交流電源喪失の状態では火災が発生するという条件に整理をさせていただいたのが 5 ページの下から 3 分の 2。
0:09:24	1 ぐらいの温度、また書きの文章でございます。
0:09:28	加えて、外的事象も踏まえた有効有効性の代表事例につきましては、再処理でも整理をさせていただいてる通りでございます。地震時の外的地震については、機器の機能喪失の範囲に加えて、対象ための対策作業環境の悪化が想定されるので。
0:09:46	全体としてはこの外的事象代表事例に作るという考え方で、6 ページにかけて整理をさせていただいてございます。
0:09:56	いや、2.3 の対策の考え方は全く破碎を前提とした上で、どういふ対処をするのかというのを基本的な考え方を書かさせていただいてございます。こちら火災と設計基準対象施設である感知消火が機能喪失したということを前提に価格改定をいまして、
0:10:17	まずは、
0:10:18	火災を消火をするということと、あとは、
0:10:23	ダンパを閉じて内部への放出を遮断するということでございます。
0:10:29	これまで御説明したのと同じでございます。それまでの間はHEPAフィルタによって捕集をして、外部への放出は低減をしますということでございます。
0:10:41	で、6 ページの下側でございますが、前回審査会合で御指摘がありまして回収と回復の話でございますが、こちらは当社からちゃんと目的を付した上で、その必要性を御説明させていただくというお約束をしてございましたので、
0:10:57	6 ページの下側に火災の消火とダンパ閉止により経路の遮断がっていうのが終わった後、事故としては収束した状態になるんですが、
0:11:08	肯定するに漏れた、

0:11:11	粉末等に対してあとなく増減が発生した場合には、容易に外部に放出するという状態に至る可能性があるので、これらの改修をやりますということ。
0:11:22	あとは、回収作業の後に、いわゆるもともとペイ捕集浄化機能を有するフィルターを通して外部に放出しているという状態がありますので、これに対する回復という意味で、排気経路経営への基準の確保ということと、管理された状態で放出管理を行うと。
0:11:40	ということが回復作業の目的であるということをご付させていただきます。
0:11:47	また 7 ページ以降が具体的な対策の展開ですが、こちらは今御説明した内容をどんな設備を使ってやるのかというのを整理をさせていただきます。
0:11:58	言っておりますのが 2.4 の一番頭のところで前回ヒアリングのときに御指摘をいただいた発生もしこうやるトリガーになるものが何かということにつきまして整理をさせていただきました。
0:12:11	いわゆる感知消火の多重故障だけではなくて、安全系監視制御盤の機能喪失が起こった場合にも、いわゆる発生防止に走るということが必要だということでございます。
0:12:25	一方、先ほどありました全交流電源喪失、
0:12:29	とかにつきましては、説明の状態監視ができない状態ではありますが、いわゆる能力等がカバーされていることを確認をするという意味で、電源なんですとか工程停止といった操作ではなくてそういったものが止まっていることを確認をするということになります。
0:12:46	こういったものを発生防止として位置付けますよと会計のが最初のパーツの部分になります。
0:12:52	そのあとが、地震による重大事故の拡大防止の対策の具体を書いてましてこちらについては、
0:12:59	前回これも指摘を受けております。どんなパラメーターをもってそういった判断をするのかということについては、それぞれ何をもってというのを整理した上で書かせていただいたということでございます。
0:13:16	そちらを淳二 7 ページまで一つ一つの対策に対して整理をした上で、
0:13:25	7/8 ページの
0:13:27	7 ページから 8 ページにかけてでございますが、8 ページ側の
0:13:32	真ん中にそれぞれ書いたパラメーターについては、
0:13:37	上記の対象にするための監視パラメータについてでございます。添付 4 側に整理をさせていただきますがそれぞれの対策に使うパラメータというのを整理をしたということでございますが、こちらのパラメータにつきましては、計装設備のヒアリングの際に御説明させていただいており、それぞれ

0:13:54	掲載書いの中央制御室であったり、緊待所側に送るものが何かというのでもあわせて添付4割整理をさせていただいてございます。
0:14:04	8ページの下側、上記の各作業に使用する重大事故等対処設備は、ウェブ部につきましては、
0:14:12	27条の共通的な設備の考え方について整理をさせていただいてございますが、こちらでも以前から御指摘をいただいています。最初イトウ同じというわけではなくて、MOXとしてどう考えるのかという部分をしっかりと示すということを念頭に整理をさせていただきました。
0:14:32	それで小段落は、一般的に規則にもありますようにやるべきことを書いてます。熱炉MOX燃料加工施設におけると書いてある2段落目、こちらについてが木製先ほど火災を起点としたいろんな重大事故に対して、
0:14:47	特徴的に配慮すべき設計要件を書かさせていただいたのが9ページまで続いてございます。
0:14:55	続きまして、3ポツの評価指標結果並びに不確かさの影響評価、こちらについては、評価の考え方から順に整理をさせていただきまして、
0:15:11	一通りこれまで御説明してきた内容を前提に整理をさせていただいたということでございます。除染係数としては経路を考えた上でどう設定するのかということ、事故条件のところにつきましては、前回も御指摘ございまして1ページ、二倍のSsに対する1.二倍の地震動を考慮した場合に、
0:15:31	どう考えるのかということ整理でございます。
0:15:36	落とすかさ10ページの(3)の機器条件につきましては、こちらがこれまで御説明した重大事故の火災に対して確実に消火ができるということ、あと、
0:15:52	買取についても回収できる能力を持ったものをちゃんと子細備しますということの具体的な内容としての条件を整理をさせていただいてますか既設求めます。すいませんといったこら辺で切らせていただきたいなというふうに思います。はい、わかりました。
0:16:12	まず当庫の規制庁タテベです。今回いただいた資料ですと、まず、BDBAの選定の話。
0:16:21	それから続く評価の話とSAの選定受けての評価の記載があるかと思えますけれどもちょっとこれ形式的な資料欠席な話になってしまうかもしれませんけれども、DBAの自己評価の項目等、
0:16:40	SFピットの評価の項目とで若干ちょっと並びが違ったりとかしてるんですけども、こちらは言うところのような理由なんでしょうか。
0:16:49	はい。
0:16:52	日本エヌイシハラでございます。BDBAのほうは、おっしゃる通り本当合わせたほうがいいのかもしいんですが、

0:17:04	いわゆるももとのDB側で自己評価をやっていこうミリを上回ることがないことを確認しなさいというような評価はの話に軸足を置いている部分の事故による影響の評価ですという部分と、対象も含めた評価を求めている部分があったので、そこを従来DBA閉じ
0:17:23	吸い上げて若干その趣旨がセガワのが多い範囲が広いということもあって、その書き方がうまくぴったり同じにならなかったというのがあります。
0:17:35	はい。
0:17:37	えっとですねあ、規制庁のタテベです。名程度も違いがSAとDBAとの違いがあると着眼点が違うというのを理解をしましたけれども、なるべくDBAとSAというのは比較して見ていく必要があるのかなというふうに思っていて、項目立てはなるべく合わせていただくようお願いいたします。
0:17:59	日本エヌイシハラでございます。わかりました。ちょっとそちらの方向で整理をさせていただきたいと思います。
0:18:06	規制庁タテベず、あとOSLのほうの有効性評価の具体が書かれてるんですけども、このページでいきますと、
0:18:19	9ページの散歩数よりも前半部分が、そのSAの対処の基本法が会社の概要という理解でよろしいですかね。
0:18:32	上下2社でございます。そういうことになります。
0:18:38	これ今回3ポツ以降については前回前々回の会合ですね、まず選定の概要をお聞きしてそれで
0:18:50	次には対処の概要を聞くというお話だったかと思うんですけども、それから3ポツ以降の話っていうのを、今回はあれですかね
0:19:01	会合で御説明する内容ですか。
0:19:10	日本原燃西原でございます。我々としては、重大事項対象を説明をするというのが一番必要であると思っておりますが、重大事故の対処のぜひを確認しようと思うとどうしてもこの評価の視点っていうのを入れないと。
0:19:29	そのぜひがあれば、御説明しやりとりができないんじゃないかということも考えまして、サポート追戸を入れさせていただいたというのが考えなんですが、それは別途ご相談させていただいた上で思っていました。
0:19:45	はい。
0:19:47	はい。
0:19:51	はい。
0:20:43	規制庁タテベです。トレセン全国IEEEちょっとお願いしたところがちょっと漏れてるかなというふうに思っていて例えば選定で例えば内の事象で三つは一種シナリオが出てきてそれに対してどう評価するかとか、

0:21:00	そこら辺のその選定との選定等、有効性評価といいますと、対処の概要の繋がりのところがちょっと見えにくくなってるといふふうに思ってますけれどもいかがでしょうか。します。
0:21:14	日本よりイシハラでございますそれでは、前回の審査会合で選定のところで閉じ込め機能の喪失は大きく分けて三つのカテゴリーを作ってそれに対して
0:21:27	当方としては最終的にはCチームの三番目だけが重大事故に選定されたという結果になっていたもので、そここのひもづけを考えたんですが、
0:21:37	いわゆるその少最初の二つも含めて全体として選定が現れてきて対処が必要なものに対しての絞り込んでいくことが展開していく流れも含めて、中で記載すべきという御指摘と理解粒子消火
0:21:53	はい、規制庁タテベですとそうです。
0:21:55	。
0:21:57	わかりました。そういう意味ではすいませんそういう視点では書き切れてないところがありますので、
0:22:05	2 ポツの重大事故として選定したというところに対して選定の流れを汲んだ上で、
0:22:13	そういう意味でそこで私が先ほど説明したページの長時間の全交流電源喪失の全体れるのか入れないのか明確にすべきだという御指摘ございましたので、そこも入れた上で、そこで整理をさせていただくということによろしいでしょうか。
0:22:32	すみません、古作ですはい今どこでどうすると言われたのをもう一度言ってもらえますか。はい。1 ポツは全体的な基本的な考え方を変えていますので、2 ポツのところ、選定の部分の考え方を圧縮した形で整理をして、
0:22:51	重大事故として何を選ぶべきかというところを機能喪失の範囲等を外部への放出の可能性っていうところをもう一度整理をさせていただいて入れて、その中で選んだ重大事故との関係で 2.1 で今書いてます事故の特徴をつなげていこうかなと思ってたんですが、
0:23:11	2.1 の前にそれを過去っていうことかいない。
0:23:17	はい。
0:23:21	なお、
0:23:22	すいません、ちょっと遅れてきたので、フォローしきれてないんですけど。
0:23:28	そもそも今回の資料が何の資料でどういうつもりで書いてるかっていうのがわからなくなっているんですけど、もうすでにお話はあったんですけど、これは基本的にDBとSAの用紙を変えているものっていう理解へ

0:23:48	いいんだね。日本原燃西原でございます。そのつもりでございます。前回選定までであったので線形から受けた事項の対象側の説明をしようと思って用紙を書いたつもりでございます。
0:24:03	やっぱりそうするとですね、
0:24:11	どうぞ。
0:24:13	はい。
0:24:14	その前に選定の表紙が整理、
0:24:20	これの資料になるので、この資料の中に選定の話っていうのは入らない要らないんですよ。
0:24:31	それとたいていということになるんですけど。
0:24:36	日本原燃者でございます。先ほどもともと我々が作ったのは、今、コサクセガワ通り選定委員会が玄海の資料であってその選定の結果を受けた形で、
0:24:47	2 ポツ以降の流れが 1 ポツも当然基本的な考え方は評価ですけども、そこを解決グリスであって、今先ほどタテベさんからご指摘あった玄海の選定の中で言っていた三つのカテゴリーの話も踏まえた上で、という話になると。
0:25:04	ここで求めたところに入れるっていうも抱えだけ選んだということの結果として受けた上で、2 ポツが始まっていますので、そういう整理だったんですが先ほどご指摘いわゆる投稿中に入れようとするそこぐらいしかないかなということでお答えをさせていただきました。
0:25:21	それで大元になつての質問になるんですけど。
0:25:27	1 ポツの記載がですね。
0:25:30	TPP燃え性もよくわからないんですね。
0:25:38	会計審査会合での一番最初の
0:25:43	そもそもBDBAの入口で性の入口といったところの記載内容とも合っていないような気がしますし。
0:25:52	評価の基本方針と言いつつ、
0:25:58	例えば、評価の基本的考え方といつつですね。
0:26:02	その選定の前に書くべき事項と、選定の後の評価の比率と地殻事項っていうのがウチヤマになっていて、
0:26:12	一体この資料なんだろうかというのが余計わからなくなるんですよ。
0:26:17	もし選定の話ポップアップでも入れてということで整理をされるのであれば、
0:26:25	その選定よりも前の一番最初の方針をしっかりと書いた上で選定の主要な部分、
0:26:36	最終的な結論。

0:26:37	1点目のところを書いてさらに評価の欲しいというところにつながっていただけると、全体像が誤解なく要るんじゃないかなと思うんですけど、そういう対応できますか。
0:26:55	日本原燃西原でございます。
0:26:58	指摘の内容は理解をしましたので、
0:27:03	作りますところは、
0:27:06	そういう意味ではおっしゃる通りで1社で解いて作っておきながら言ったような感じもありますが、1発のところのデータ設計基準事故も引っかかる方針は、被ばくあり得る軸足を置いたB型一つで単一故障、
0:27:21	のを仮定してあげる語尾超えないことを確認しますっていう評価をしましただけですので、そういった意味で言えばあくまで選定の話を生懸命抱えているという部分があるのが、
0:27:32	ご指摘の通りだと思いますので、全体の設計基準事故って何をやるのが目的であるかということをもっと書いた上で、
0:27:42	選定の話の選定関連で2ポツ以降の話をつなげていくということを考えます。
0:27:48	重大事故同じような形で整理をさせていただきます。
0:27:53	はい、その点ですね、最初に、重大事故の申請書本文とか、そういう構成としてしっかりとそれぞれの出資額込んでいるものと思います。はい。その前だからどこで何を書くべきかというのをまとめてくれればと思います。
0:28:11	併せてですね、
0:28:14	DBAでいうと、2ポツ、SAのほうも
0:28:20	のスポーツに
0:28:22	はい、じゃあ、書く場所が違っているっていうことはお話しされました。
0:28:29	はいこちらは日本原燃石原でございますが、ちょうどタテベさんからの攻勢がそもそも合っていないので、そこをちゃんとあわせに行くということを前提に採用文書は作るべきだという御指摘いただきましたのでそこは整理をあわせてさせていただきます。
0:28:46	やっぱりどこにされるんでしょうか。
0:28:52	うーん。
0:28:56	結局どちらも
0:29:00	人口の特徴なりがあって、代表事例かなというふうには思いますので、
0:29:08	重大事故より2に整理をしようかなと思ってますが、
0:29:14	はい。これも重大事故の再処理での構成の仕方を踏まえて整理をさせていただきたいと思うんですけども、争点では最終
0:29:27	重大事故をみながら話をしたほうがいいかなと思うんですけども、

0:29:33	4 ページでまず自分の特徴というのがあって、
0:29:37	その上で、
0:29:40	最初に書いてあるのは、対策の考え方、NIPPOの資料の 6 ページの自己負担
0:29:48	はい。
0:29:50	具体的対策におつ 4。
0:29:53	はい。
0:29:55	花王、
0:29:57	ですので、基本的にそこで一旦、
0:30:02	円だとかですかね。どうい
0:30:06	してるのかっていうのを明確にした上で、そこから協会として施設評価のときに、秒間東京に上がるでしょうってこれとこれとこれがあって、これを代表としてはどうとらえるか当番関係はないというのを分析するのがA評価で一番最初に行く。
0:30:26	いう場合で、2 ポツには、勧告の最初ということで、はい、わかりました。
0:30:34	その際に、先ほどその選定のところとの繋がりといったところがあるんで、前のほうで書いた事対応関係をつけて債権。
0:30:46	いうことにしていただければと思います。
0:30:49	わかりました。
0:30:51	IBM同じはいえばパークが少ないので、内陸では、ある程度、
0:31:00	けど一方で、DBAの後だね。2 ページの 4 ポツが想定シナリオというちょっとSAと違う表現になって、扱いが曖昧なんですね。
0:31:15	これ想定シナリオって書いてあるんですけど、基本対策の更新等具体的対策が刻までになって書いてあると。
0:31:25	いうふうに思うので、生徒、同じように分けるのか。
0:31:33	簡単にかけるので合わせちゃうのかっていうのは、だんだんわかっていますけど、対応関係としては明確にして対応を受けて整理をしていただければと思います。
0:31:46	はい。
0:31:47	その上でですね、4 ポツの
0:31:51	空気を経た後の段落のところ、
0:31:55	高まりのところは、
0:31:57	ちょっとその趣旨と違って、ここが若干設定の関係の話が書かれていて、何を創出したものとして評価対象にしますかっていうことが書かれているんです。

0:32:12	通常のDBAの評価であれば、単一故障の想定があつてということの評価の中で説明するということになるんですけど、有効性評価重大事故の有効性評価との繋がりをつけるために、これも
0:32:31	選定のところで議論していただいているパーツになるので、その点はですね。
0:32:38	先ほど
0:32:42	選定フローを踏まえて、
0:32:46	評価の最初で条件設定のところはいろいろ事例があつて、そういうところで整理をするといったような残って性の整理の仕方ということにあわせて御相談はさせていただいたらいいかな。
0:33:02	はい。
0:33:03	はい。
0:33:05	はい、わかりました。その形を目指して整理をします。
0:33:12	それですねちょっと内容に入ったんですけど、今の場所なんですけど、排風器の単一故障ということ想定。
0:33:22	してるということを説明されているんですね。
0:33:27	はい。
0:33:29	ちょっと表現ぶりがわかりにくいということもあるので、記載場所に上がってそういったところもわかりやすくしたほうがいいんですけど、それですね、
0:33:41	用紙のときにはあまり細かな説明とかいらないんですけど、今回は行政というだけにとどまらず、原燃の考えてる全体等を示すということもあるんで、
0:33:57	排風機の単一故障じゃない場合って大丈夫なのっていう言葉ですね、何かわかるように変えて欲しいなと思っております、具体的にはDG1系統だったり消火ページ系統だったり、ほかに対しての平米数が幾つかあるわけで、
0:34:15	その単一故障は大きく想定した場合にはでしょうが、抜本的な策として、アレルギーの第1章の考えてればいい。
0:34:26	ということについてわかるようにしたいと思っています。わかりました。
0:34:34	そこがおっしゃられたという前提で管理は感知消火に関する対立故障を仮定するとしかしてないので、そこは分けた形で評価の代表事例を選ぶときにどうかいつ故障が最も厳しくなるのかというのを整理をした上で文章書いて御説明をさせていただきたいと思っています。
0:34:54	はい。
0:34:56	その点ではですねちょっと選定側の議論になるかもしれないんですけど、選定のときにはもう飽和としての機能ということにとどまらず、その機能を維持する復水器が何でそれがどういう故障モードがあるのか。
0:35:13	いうのを分析しているわけですね。

0:35:16	なので、用紙レベルだと、そこまで表現しないのかもしれないんですけど、最終的には選定のときにもですね、今の電源系なのか、直接の消火系とか、その関連である配布なのかと。
0:35:34	言ったようなことはftなり何なりではっきりさせ、いろいろなカードがあるということは明確になるというふうに整理していただく必要があると。
0:35:46	はい、日本原燃西原でございます。
0:35:49	それで資料も当然年会の選定の用紙も含めて全体見直しを図っておりますがもともと当社ぶり我々もともとDBNを評価の仕方に大分偏ってましたので、もともとは評価段階の単一故障の仮定で、
0:36:04	そのいわゆるどの機器が関連する機器があって、どれが単一故障を起こしたらどうなるのかということは整理をさせていただいてますので、今回の前回の資料しかも踏まえた上で、次資料を作るときには全体にそれをつなげたいと思います。
0:36:20	はい、よろしく申し上げます。
0:36:23	それともう一つ、入口として整理をしておきたいのが、事故の特徴の記載内容が再処理と余りにも違いすぎる。
0:36:33	いうところですよ。
0:36:36	これについては議論されました。せない。
0:36:42	事故の特徴として何を記載すべきと思われるかという質問は、この通所開催してしょうがないんですか。
0:36:57	足りてないと思っているのであれですが、事故の特徴もんではもうおそらく現象論として何が起こるかっていうのを色になる。
0:37:11	ですから、圧力とあるとかいろんなものを踏まえた上でそういう事象が展開されるのかというのを説明する必要があると思ってます。
0:37:19	そういう意味では、今は議題文書が飛んでいて、具体的に何を持って、その事象に至るのかって言うのが流れがないので、そこは出したいと思ってます。
0:37:31	はい。
0:37:33	表現としては、今の説明は適切なものですけど、一方で、どういう。
0:37:41	それに進展があるのかといった時にですね、対策を変えてしまうと、大丈夫という結論での記載になっちゃうんですけど、再処理の重大事故のところは大丈夫といったところは書かなくてですね。
0:37:57	何を危惧しているのか、何をどうならないように、その後の対策をと議論するのかというリスクを書いているんですね。
0:38:08	なので、ここに対策がいっぱい書かれていることがDMOの要望もおかしい。

0:38:14	ということで、はい。はい。日本原燃西原でございますが、今言われているのが例えば蒸発乾固でいけば、冷却機能が信頼エラー高レベル排気がどんな状態なのか、低減沸騰していつて、どういう状態になったら次。
0:38:30	それが観光側に行くのかっていろんな状態変化とリスクの話と、会計のおっしゃる通りですので、そこも踏まえた上で、書き方を考えます。
0:38:40	はい、そうすることで、DBと郵政あまり変わらないんですよね。
0:38:46	結局総会が終わってドライビングフォースができて、それがある以上、7ページ、次、そこはその通りなので、それでいいと思ってます。一方で、その次の対策の考え方がね。
0:39:03	大きくIB程度で静定違うと。
0:39:08	いうふうに思っているんで、その違いというのを心配しているか確認して欲しいというのが
0:39:15	今回の議題の一番だと思ってます。はい。
0:39:20	どうするんです。
0:39:23	次の話にしちゃったんで申し訳ないんですけど、事故の特徴としては、平常時にどういう安全管理をしていて、それが崩れるから、
0:39:33	こういうふうに起きてっていう、その部分は確認してください。
0:39:39	わかりました。
0:39:44	その上で対策の考え方なんですけど。
0:39:53	BDBAなんですけど。
0:39:56	今日の資料の4ポツの最終処分の提案を参考Ⅱの中に入り込んだっていうような感じがするんですけど。
0:40:07	消化をしますということなんです。
0:40:11	鉄が何で消火するんですかね。
0:40:17	ていうのが何も無く思うぐらいに消化しますとしか書いてないですね。
0:40:26	ファイバ工数を答えるのに消化しますなんですけど、一方で、排風機を動かしたままではないかって何だ。
0:40:37	といったことも書いてないんです。
0:40:43	そういったところなんでっていうところを、この部分に書いて欲しい。
0:40:49	はい。
0:40:53	私の読んで理解するところだと、まずDBAの場合は、窒息消火に入ります。
0:41:03	いうのをセットにしている、会えて窒息消火をすると早く置換しなきゃいけないと。
0:41:10	ということなので一生懸命入れるというだけだとなかなか置換してないので、はい。抜きながらいけると。

0:41:19	はい、おっしゃる通りです。融資設計思想なんだろうなと思いますので、あそこから辺に使われる書いていただくということがあったかい。
0:41:31	そうすると、それが考え方で、それを踏まえて具体的な対策といった視点では言った6をどういうふう構成するんですね。
0:41:42	何分後には動かしてどうする。すいません何分言葉っていうのは、事故条件とか、機器条件がいいのかもしれないんですけど、それらの設計の構成というのを整理すると。
0:41:55	いうことに繋がっていくということだと。
0:42:05	そんなときに、
0:42:09	DBAのほうだとダンパ閉止があるんですけどダンパ閉止はあ基本書窒息消火を維持するという視点でやりますということだったと思うんで。はい、パソコンをその趣旨を明確にしといていただく場合、
0:42:27	一般訂正の場合は、そうではなくて、消化が遅れる。
0:42:35	というのがそもそもの想定でなどで消化を待たずに閉じ込めると。
0:42:43	いう設計思想になるというふうにこれまで御説明いただいてですけど、そこには変わらないですか。
0:42:53	考え方はそうなんですけど、今時間を考えると結果的には報告同時で、
0:43:00	終わるといった感じになります。それでは資料2でわかったんですけど、シュゾウとしては閉じ込めるでいいんです。そうですね、はい。
0:43:10	そういうことをまずしっかりと言うたってもらわないと決算でこういう順番になってるんだ、どうして大DBAとSAで何が違うということではないですね。はい。
0:43:23	はい。
0:43:25	閉じ込めるんだということになる。
0:43:30	ちょっと閉じ込めるといっても後の前もお話あったんですけど閉じ込めるにもいろいろあって、密封容器という閉じ込めっていう場合ですと、グローボックス、フードという空気の流れて押さえるという場合と、ちょっとグローボックスはそういうふうがいいのかどうかというような制度、
0:43:48	密封なのか、そうではない開口部がありつつ流れる抑えるということか、或いは出ないようにするということでの能動的な再編ということだとか、
0:44:04	いう幾つかどうも視点での何なのかっていうのをちゃんとってもらわないと話がわからない。
0:44:12	赤いところがあるので、そこはDBAとSAでそれぞれ閉じ込めの話をするときには、被ばくして欲しいと思います。
0:44:21	はい、わかりました。

0:44:23	ちょっと脱線するんですけど、特に今回の資料で気になったのは、前回の会合で話をした点でグローブボックスというのは、隙間があるのかないのか、それを設計思想としてどうされるのかと。
0:44:38	いったことが、
0:44:41	内的事象のときにはリークタイトのような表現を対象に評価をしていて、
0:44:48	地震に関する情報が壊れるから漏れるんですけど、
0:44:53	いや、まさに戻っていですね、前回の会合の説明は何だったんだっていう風が吹く。
0:45:00	そこはどう考えて資料をつくられた。
0:45:04	そこはそういう意味では、前回御説明した私が御説明した趣旨としては、もともとから、まあインリークをある程度見込んだ上での設計になりますので、多分、僕塑性的なバウンダリーとしてとらえることは難しいと思ってます。ただ、
0:45:22	その隙間を考えた上で、圧力が上がっていろんな状況の変化があれば、そこから物がフェイスに漏えいするっていうのは考えなきゃいけないと思ってますので、そういうことが確かに書き切れないところでいきなり損傷部ってなってますので、そういうことは考慮した上で書き方を考えます。
0:45:43	そうすると、内的事象でもDDカバーするということですね。はい。
0:45:50	そこが何かと思っていた段階でレビューがちゃんと成立せずにタラタラとワタミというルールみたいな資料を何でも出されるので、我々としては
0:46:02	ですよ。
0:46:05	なので、タテベが言ったようにですね、選定の話で整理されたはずなので、ちゃんと繋がっているのかっていったことも行っているし、
0:46:15	全般的にどう見たらいいところわからないということになるので、そういった点しっかりと見てですね、整合のとれた消化器をつけてください。
0:46:26	はい、わかりました。
0:46:29	はい。
0:46:32	話を戻すと、SAの事故の特徴は、
0:46:40	まず選定のところから規制速やかに広くケースということができない状態。
0:46:48	ということがまず入口にあって、
0:46:51	いうことで、
0:46:56	そう。
0:47:01	それによってこの通路部が
0:47:06	さらにあれですね、選定の中で言うと排風機求まるという事項そうですね光でその点は工程でモデルっていう話が出ますということは記述してあるんだろう。
0:47:20	はい。

0:47:21	以上になります。施行までは少なくとも言わせてもらおうと思います特徴の中で、
0:47:27	その上で対策として、
0:47:31	対応消火系での代替措置を講じて消していくという話と、役員改選また閉じ込めって話があって、他に償還を指定した場合に、それこそ目的。
0:47:46	言う並行作業をします。
0:47:49	いうことをいただくというと、
0:47:53	その際に
0:47:56	パスが幾つか出てくるのでそれにそれぞれついてないかっていうことをいただければいい。
0:48:03	はい。
0:48:04	その点でございますと言ってるんですけど、前排風機を止めるというふうに聞いてたんですが、
0:48:13	5 ページのところの
0:48:17	19 名かのところには、排風機を稼働させながらなどと書いてあってですね、対策の言ってることが変わっちゃってるんですけど。
0:48:27	一体どういうことになってるんでしょうか。
0:48:31	する人間にイシハラでそういう意味ではすいません言ってることが変わってる部分があるのが 1 点、高齢化言ってる通りで、
0:48:43	魔法試験をどう考えるかということが政府等フィルタ 4 段のところを経由する場合を考えた方が講師が小さくなるってということもあるんじゃないかというところで書いてあるんですが、今ご指摘の通り考え方が全体的に頭で書いてしまうと。
0:48:59	そこそこが出るので、そこはもう一度整理をさせていただきます。
0:49:04	はい。そこはですね、まさに整理の趣旨、一番大事なところで、この部分っていうのは選定から繋がってくる場所になるんですよ。田制がどのような条件がそれぞれピックアップされて、それに対してどう対応っていうのかという疑問の部分。
0:49:23	がすごい揺らいでいてですね。
0:49:25	何とも言いようがないとかっていうので。
0:49:29	込めて説明できるようにしていただきたい。
0:49:33	をもちまして、この際にですね、後ろのほうのフロー。
0:49:40	もうこれまでの整理と少し変わってって、
0:49:44	18 ページ。
0:49:46	CAPE3 ですけど。

0:49:50	変わってというか、指摘を踏まえて変更したということ。
0:49:55	が多いと思うんですけど。
0:50:00	異常の検知(10)重大事故の着手判断というのが、左の2番目のところの一番上、
0:50:09	2、
0:50:10	書いてあるんですけど、まずこれは重大事故の着手ではなくて、
0:50:18	マキして重大事故等対処の着手というか、まだ発生していない入口の段階なので、その点は間違った表現をしないように、
0:50:31	ということがありつつ、ここの部分が全閉との関係でどういう
0:50:40	項目で上げるのかということになって、
0:50:42	一方で選定日てる荷重補償という表現と手順っていつきの基準の言い方が、
0:50:52	あまりこの多重故障というのは適切な感じがしなくもないんですけど。
0:50:58	一方でその下は清涼盤の機能喪失とかって書いてあったりしてですね。
0:51:04	構造を考えているんでしょうか。
0:51:10	はい。
0:51:12	日本原燃西原でございます。そこのところにつきましては、しっかり整理ができていないと言われるとなかなか難しいところがやっぱりあります悩んでるのは事実でして、
0:51:25	選定の段階では、いわゆる感知消火の多重故障として何が起こるかということとは共通要因で起こる可能性がある範囲とか、全交流電源喪失と考えればいいんですが、
0:51:38	そのいろんなものをトリガーとして、その手順として定める時の
0:51:42	起点として考えたときには監視制御盤で機能が生きてるかどうかを確認できないっていうのも、
0:51:50	一つの要因と時価のキーワードとしてはあるんじゃないのかと。
0:51:54	いうふうに考えているんですがおっしゃる通りに設定が繋がるかというのはちょっと繋がらないんですがただ考えなきゃいけない項目としては挙げておくべきじゃないかということで今挙げてます。
0:52:04	なので繋がりがいいことは認識しながらもう抜けているというふうにとられるのもやったので入れたということです。
0:52:12	すいません私が言いたいのは監視性も入ってるのがおかしいと言ってるつもりは全くなくて入れる必要があるんですけど、そこがまさに
0:52:24	ポイントで時コーナー。

0:52:28	選定のときは、こここの場所行ってるわけじゃなくてあくまでこの後ろの一番右側の場所のことを前提で落ちるわけですよ。行かないようにするために、どこで抑えるかということでの
0:52:43	判断基準なので、
0:52:46	手前のものがあるわけですね。
0:52:49	うん。
0:52:50	その分析をするのがFPGだったりするんですよ。
0:52:57	で、さらに言うところちょっと話が発散してしまって申し訳ないんですけど、有効性評価は拡大防止対策の有効性を評価しますっていうことと言われてこれは基準通りになったんですけど、一方で、前に発生防止があるわけですね。
0:53:14	発生防止のページがあった上での拡大防止の手順であったり、MOXの場合はそれは並行して走るといようなこともあるということなので、発生防止の話が何もなくてですね、こここの場所の方、時着手判断っていうのは無理があるんですよ。
0:53:35	そういうのを対策の考え方としては何か言っておかないと。
0:53:40	このページに流れていかないと思うんですね。
0:53:50	ほかにありますか、日本で2社ですおっしゃっておられることは理解をした上で、
0:53:57	前から一応、
0:54:02	目指すだと言われて、1号しっかり持てとご指摘上がってるんですが、ここはすみません、管理官との話もありながら揺れ動いているところではありますが、その発生防止は当然、我々としても、火災の発生も含めてやるべきと思っておりますが、
0:54:19	MARUWAの火災の有無を確認してから、いろんなものが動くんじゃないのかということもお話を伺っていた部分もあったので、今でも若干すみません、私は火災の発生防止に入ってなくてですね。
0:54:34	重大事故発生防止のことを言っていて、80年代、皆さんの言っている重大事故は火災ではないです。
0:54:43	火災によって放射性物質が外に出ることです。
0:54:51	艦隊次も合うおっしゃる通りだと思います際なので、18ページで言うと、発生防止としては、商品
0:55:01	／採用起こさないようにするというだけではなくて、全工程停止というのが、発生防止対策。
0:55:13	入口から問題が起きるような状態にしないようにする。
0:55:19	ということなので、

0:55:22	またその下の火砕岩を有する云々っていうのは若干発生火災の発生防止に近いところはあるんですか。はい、阿部手前でいう火災発生防止ではなくてですね。
0:55:33	そうですね、これやってしまうと、火災の発生防止をやってるところは動かさないんであって、
0:55:41	そういうことではない。そっちでそういったそのプラスアルファの措置を講じるというのがどういう判断基準とかっていう話をさせていただくと。
0:55:52	ということで、一方で、火災が発生して放出を抑えるというための対応っていうのが拡大防止対策。
0:56:02	融資わけなので、こちらの重大事故の発生防止という観点を抑える。
0:56:09	ここの着手判断というものをし、
0:56:16	ということなので、選定で言われたその条件を本対策の考え方のところでは発生防止拡大防止パッケージで、その上で手順
0:56:29	そして、具体的対策で
0:56:32	示す。
0:56:34	いう流れになるんじゃないかなと。
0:56:50	はい。
0:56:51	はい。高湿指摘の内容は理解しましたので、整理をさせていただきます。
0:57:00	はい。
0:57:10	議長。
0:57:14	今、
0:57:15	うん。
0:57:32	それで、
0:57:34	流れ的にSAの対策についての考え方っていうのに
0:57:41	いっぱいですけど。
0:57:43	改修とか行く。
0:57:48	なんですが、
0:57:50	ば一つと処理をするのは結構なことなので、
0:57:58	何も否定はしないんですけど。
0:58:04	着手の判断がいまいちよくわからないんですね、それも何でやるのかっていうのが、または提案ですけど。
0:58:19	イトウ 6 ページの下から 6 行目ぐらいのところにマネージャーから駆動力が発生した場合には、
0:58:28	ということで、実今日

0:58:33	まだ使って飛散老齢した状態のままということだと、通常のリスクに戻ってない。
0:58:43	それが目的です。はい、はい。
0:58:48	はい。
0:58:50	そうしたときに、
0:58:55	回収
0:58:58	をするのに、工程室に入るわけですね。
0:59:03	はい。
0:59:05	いえ、工程室には、
0:59:08	ハロー軽減各通貨け
0:59:12	ほぼ
0:59:14	上映してたりする。
0:59:17	のかどうかと、能動的にどういうものなのかっていうのがよくわかんないんですけど。
0:59:24	この辺りで到着するっていう考えなってるんでしょうか。
0:59:31	はい、日本原燃石原でございます。基本は、このリスクからポテンシャルを持ったままであるということ是不変ならないのでということはなるべく早くやる必要はあるんじゃないかと、正しい火災を掘ってる状況であるの
0:59:49	非常に危険だということで消火が終わった後、
0:59:53	次やるというのが前提になります。プラスおしゃべり消火を正直グローボックスの隙間等々があれば、ある
1:00:01	貨物の消火剤が残っている可能性はありますが、これは他の施設でも同様の現場に入る議には酸素呼吸器等をつけた上で入るということを前提に考えてます。
1:00:14	はい。
1:00:15	通すとそういうことはですね、何もわからないんで 10 分でできますとだけ書いてあると非常に
1:00:23	対策としては安く感じるのですね。
1:00:32	後ろのほうの
1:00:36	19 ページ、20 ページ。
1:00:42	どこの必要な準備の完了という中に入ってるんだと思うんですけど。
1:00:49	はい、続きまして、もっと明確に何をやるものが準備するものは何がどこにあるか。
1:00:56	それがわかるようにしといてください。

1:01:02	はい、わかりやすい資料でまとめておけばいいようなものもあるかと思うんですけど、いずれ考えてますということだけわかるように、
1:01:11	はい、わかりました。
1:01:13	今過ぎじゃ若干ご説明になっている部分もありますが、
1:01:19	火災の消火と閉じ込めはDF今日放出に直接繋がるので時間軸を変えているんですが、
1:01:26	回収と回復には今時間設定を変えてなくて、
1:01:30	そこは書くべきだろうという御指摘があるような気はしますが、今、いついつまで止めなきゃいけないと思うんでは書いてないのが実態です。
1:01:38	そこは、
1:01:40	時回復お誘い描きづらいですけど、回収のほうは、
1:01:45	今御説明した通りリスクがいつ起こるかわからないので、ナカノワタリ早くというだけで今書いているということの状態になってます。
1:01:57	排風機をとめダンパーを進めんというときに、
1:02:04	①新たな駆動力が発生した場合という可能性は相当に低いと思うんですね、火災が再燃した場合なんです。
1:02:15	はい。
1:02:17	それも
1:02:20	破裂減とかを排除している状態において、
1:02:24	はい、さらに空気を入れ込むという作業をしなければですね。
1:02:30	そんなに急に何かを切ることではないので、逆にその環境始めるとか、そういったときに留意をしていくということやってその何もしない間のところに置換として急がなきゃいけないとかっていうような話ですよ。
1:02:49	逆にその点では回収操作をしようとして部屋を空けるとかですね。
1:02:57	循環させるといったところの方がリスクを感じるんです。
1:03:04	おっしゃることはわかかっていて、それは中でも議論すべきは話は上げて議論はしてます。おっしゃる通りで、
1:03:12	窒息消火ではないにしろ、消火ガスを噴いて火災を傾斜状態でどうや分ければ、そこに積極的に空気を送り込むことになるので状態が変わるという意味ではリスクはあると思ってます。そこ可能な限りリスクを高めないような形で、
1:03:30	手順なりを組んでいくってことなのかなと思ってましたが、リスクは昨年度にはできないと思ってますけど。
1:03:37	だからこそ、留意してやらなきゃいけないくて、であれば可能な限り速やかにとかっていう方が危険だと思うんですよ。

1:03:46	しっかりと準備をして大敗を通じて万が一再燃した場合も大丈夫な体制で挑むと。
1:03:56	ということだと思うので、わかりました。
1:04:01	辺りの考え方も明確にさせていただいたところです。
1:04:07	もう一つは回復操作はあたかも何も問題なくて、ただ単純に管理された状態での放出管理ということになっていて、
1:04:20	皆さんは、
1:04:22	オオサカ性物質を放出するのが基本ですか。
1:04:29	はい。
1:04:31	今おっしゃってることがわかります我々としては出さないように、安全確保した上で見た運転するのが基本ですから、
1:04:40	積極的に出すことをやるということではありません。最初と違うのをやるような事業ではないですから、
1:04:49	こんな放出管理なんていう言葉を加圧するのかどうかは非常にわからないんですね。
1:04:56	換気系を動かすということをしたいということだと思うんですけど、じゃあ、感知性を伺ってたんだったというときにするという目的で内閣なんですよ。
1:05:14	なんですかね。
1:05:17	しかも、
1:05:19	常設の機器を復旧するよりも先に可搬で早く
1:05:25	Q辞退回復したいという目的は何ですか。
1:05:35	はい。
1:05:37	日本原燃西原です。そう言われますと非常に回答が難しいですが、
1:05:44	はい。
1:05:45	日本はいいと思って。
1:05:49	負圧の維持し、または気流を確保して
1:05:54	段階をつけた上で、
1:05:58	閉じ込めに行くということを基本にやっているのがもともとの配置系統が生きる理由ではありますので、
1:06:07	ただその状態に回復できますかっていうと本設常設責任対応回復しない限り、その状態にならないので、
1:06:16	そこで今切りを確保して書いてるのは実験値との違いから、そういう形で書かせていただいていますけども、
1:06:24	本来やるべきことは、

1:06:26	放射性物質を閉じ込めるということの動的閉じ込めの回復をするということだと思ってます。
1:06:33	はい。先ほどだと思うので、そういうふうに書いていただいて、dというのを閉じ込めとって、ダンパを締めている限りはと言いましたけど、一方ですね③排除されている設備じゃないので。
1:06:48	相当にドライビングフォースないと、そんなものではないでしょうと思うのですね、来年代理は最終的なリスクを下げるっていうのは、フラットにして隙間から漏れないようにすると。
1:07:05	ということが設計思想なんでしょうから、そういうふうなインフレに移行させていくと。
1:07:11	それも早めにしていくということから、除雪を復旧するよりも前に赤で移行させてその上で調整作業を順々にやっていく。
1:07:24	15 ページ位置付けのみ
1:07:29	はい。
1:07:44	それで先ほど少し話したんですけど、判断基準の表現ぶりなんですけど、
1:07:50	7 ページだと、真ん中にその地震によりっていうのが受振機の話があるんですけど、
1:07:59	不具合や自身が立ってないんですね、ページ、
1:08:05	手順の政治資料なり審査会合様々ですと、これとの合併で内や堆積っていうことだと思うんですね、多分そこら辺はお話が出ないようにしていただきたい。
1:08:23	はい、わかりました。
1:08:25	一方で、もちろん見合わせながらではあるんですけど、全般に要因が何であれば、どんな機能が審議が移動するというようなことで、一つの要因にドライブミドルに判断ができる。
1:08:43	項目の書き方っていうのはあるだろうと。
1:08:45	常々思っているね、そういうのは再処理のほうでも半年 1 年かけて話をして整理してきたんですけど。
1:08:57	そこが
1:08:59	18 ページのフロー上はそれなりにあって五つ文章の方がなかなか落ち着かないっていうところで、
1:09:08	改めて実態の手順として何を見てどう判断するかということ踏まえながらですね、精査をしていただきたいと思ってます。
1:09:21	日本原燃者でございます。今ご指摘いただいている点はおっしゃる通り起因が何であれ、先ほどの事故の特徴の中で火災が発生してそれが消化できないという状態になったということが前提なので、

1:09:37	それが超過できないっていう状態っていうのがおそらく、一定の
1:09:42	今、分類学というか、こういうものが機能喪失しましょうかできないっていうのは一対一になるので、そこも踏まえた上で、書き方を考えて整理をします。
1:09:52	はい。
1:09:54	その点別整理の一助として話をすると。
1:10:01	7 ページの
1:10:04	5 行目 6 行目 6 行目に先ほどお話しした監視制御盤の機能喪失ってあるんですけど。
1:10:14	これとですね損傷したのに段落あけてマターで繋がって全交流電源喪失層というって、これも結局監視の切る。
1:10:28	のはなくて、火災がわからないから消火ができるかどうかわからない。
1:10:34	いう状態だっていうことは同じ。
1:10:37	状況で話しているので、
1:10:41	終わってるのもちょっと今からし、
1:10:46	本当なんですよと。
1:10:49	ここでは、
1:10:52	基本的に全校
1:10:55	dの停止等、動力電源遮断ということは同じ体制で追加で監視制御盤により確認っていう表現が加わっている。これは、
1:11:08	別途され状況としては違うんですか。
1:11:19	全交流電源喪失の取っ手階級のが曖昧ではありますが、解析結果を入れるのは、機能喪失も設置してる状態としてはやっぱりということで加えてだけでやってることは同じです。全交流電源喪失をまたぎでパーティーのは止めるという行為は止まっていることを確認するというのがわかる人間が、
1:11:39	違うので、文章が書けていただけでやろうとすることは同じにする。
1:11:44	そうですね。いややろうとすることは同じで、司会復旧できる喪失と判断ができてから確認に行くっていうわけではないはずなんです。
1:11:54	これも結局は正常版がブラックアウトCCなんでだっていったところを確認して、
1:12:04	電源側死んでいるということがわかったり、
1:12:07	はい。
1:12:09	或いは消火系も動かないということがわかったりっていうことがないって、核を手順としての入口がやっぱりちょっとずれてるかなと思ってそうですね。はい、そこは先ほどからお話して通り前提からきたところを踏まえつつ、
1:12:24	手順としての整理をして繋がりを設置していただければということです。

1:12:32	特にここはまず手順なり対策っていうのを端的に明確にする位置付けをはっきりしないっていうことが主の目的の場所なんて上がらないのはちょっと流れるのために一生懸命書く必要はないですから、
1:12:50	はい。
1:12:51	それでまとめていただいて、
1:12:57	ついでに申し上げますと 18 ページのフローを追記されているんですけども、
1:13:05	今の時点でもう少しブラッシュアップしていただければと思うんですが、
1:13:12	一番上の着手判断のところから右側に二つ矢印が行くんですけど。
1:13:22	これは下の
1:13:25	この矢印は重大事故の実施判断と書いてあるんですけども、これは発生防止対策。
1:13:35	同意機関と言えいいのか。
1:13:39	拡大防止対策の準備と言えいいのか。
1:13:44	今は拡大防止側の準備と言えます。
1:13:58	準備に入る判断基準というのはよくわからない。
1:14:04	ですよね。
1:14:09	はい。
1:14:13	やっぱ撤去は現在、
1:14:17	伝播見れない状態になったから右に行きますっていう至極当然今後の対応なんですよね。
1:14:24	はい。
1:14:28	はい。
1:14:29	なので、発生防止の中の一つと言ってもいいような
1:14:35	一番ですよ。一方で
1:14:38	実施判断というような判断項目としては、
1:14:42	格納容器側で入ると思うんですけど。はい。
1:14:47	我々の整理が正しいかどうかわりとして拡大防止対策を進めるためのトリガいなのがこれだということで今整理をさせていただいているというところでございます。
1:15:00	はい。言っておきながら、ここで使う設備が衛生設備にあって、日本の場合は室内っていう
1:15:11	ところもジレンマとしてあってということが払えということなので、セイジュンが一体として進むというふうにまとめており、もらえばいい。はい。
1:15:21	はい。
1:15:28	実は

1:15:32	これまでの話をちょっと視点が違うせいかさ押しからなんですけど、真ん中の赤でDB流れるラインが書かれてるんですが、これ
1:15:46	過去のこのグループやグローブボックスだけじゃなくて、
1:15:50	ほかにもいろいろと下降側に消火活動があるんですけど、そこはこのラインではないんですけど。
1:15:59	どういう流れになります。
1:16:03	そういう意味ではまあ各燃料リースを突っ込んでいるところで再度起これば、
1:16:14	前工程停止いくのは、流れは同じですね。
1:16:19	あと、
1:16:20	全部入れてしまうと工程室含めてどうすんだって話がありますけど、グローブボックスについては核燃料物質の増強しようとして火災が起これば、基本的に、
1:16:29	そうしないので、止めるということが流れれば変わらないと思ってます。
1:16:35	大きくは変わらないんですけど、グローブボックス消火装置による自動消火ではないので、
1:16:44	はい。
1:16:46	丸めてたのか分けて、それ以外の方について伺うほか、
1:16:52	どうまとめるのかわかりませんっていう
1:16:56	網羅したフローにしておいていただきたい。はい。
1:17:03	感知器の説明ばかり五条で一生懸命したんですけど、八雲グローブボックス以外も全部自動消火には変わらないので、そこも含めてちょっと確認した上で整理をしてきます。
1:17:15	はい。
1:17:18	全然によるこれらの技術的能力側の話になるかと思うんですけど。
1:17:27	今の消火サッカーの話は、手順書としては以上。
1:17:33	異常時対策要領に入ってますね。
1:17:42	火災防護権限に避難する経営法案火災の警報自体は、警報の方なので、
1:17:51	普通考えると、
1:17:53	警報対応手順じゃないかなと思ってるんですけど。
1:17:56	消火も含めてですか。
1:18:03	三つのそういう勉強会以上の方に負担を手順書で維持されている。
1:18:12	最初のほうは、
1:18:14	自動消火
1:18:18	どうぞ。
1:18:24	申し込ま教え被覆しか多分ないのであれですけど、

1:18:30	警報に対してた試験法基準で、例えば、自動消火じゃなくて人が紹介にいったりする場合は異常非常時の対応要領にぶら下がっている手順があります。それは保安規定のひもづいている通りの整理になります。
1:18:44	ただ、自動消火で何か手順があるかと言うとそこがちょっとないような気がするんですけど。
1:18:53	確認して明確にしていなければいいんですけど、この場所での警報対応手順書と以上異常時対策やE層ということでお邪魔さしているのでもっとわかりにくいので、その挙げました、いわゆる内容で整理していただきたい。
1:19:14	ちょっと整理を確認した上で、はい。
1:19:30	場所が
1:19:31	はい。
1:19:39	はい。
1:19:46	はい。
1:19:50	うちだけ。
1:19:53	後ろ、どうぞ。
1:19:56	花とヨシダ。
1:20:07	それから、
1:20:09	1人だけ。
1:20:10	数字等は
1:20:14	はい。
1:20:18	はい。
1:20:20	結局、
1:20:26	規制庁のタテベ率東急ページ散歩Ⅱ以降の話のところでもっとマキわけはざっとお伝えしようかなというふうに思ってます。
1:20:36	まずは
1:20:41	10ページのところでですね、(3)の機器条件のほうですね、個別の温度評価にあたってはそうところがあるんですけども、ここで多分最も大きく方式パラメーターではなかろうかと思っていますと、最も評価期間条件だと思っていますと、
1:20:58	だからそういうところの考え方っていうのも今後聞かせていただければなというふうに思っています。
1:21:03	はい。
1:21:05	はい。
1:21:06	はい。

1:21:11	本当は 19 ページのところ、系統もちょっと先ほどもあったかと思えますけども、19 ページの表の②の核燃料物質を閉じ込めのところで判断に関連する監視パラメータを使用する計装設備とかペーパーになってるんですけども。
1:21:27	これは何かやっぱりファクトがずっと閉まってるといいう状況は継続して監視していくのかなてちょっと大きいんですけども、特段ここは平均と変わらないっていう理解でいいですか。
1:21:41	日本原電イシハラディスコの場合にしてたのが構造的に確保するということだったのであまり、そのあとの監視というのは考えてなかったんですが、
1:21:52	その状態が継続できること何か監視できるものがないかどうかと考えます。
1:22:11	はい。
1:22:12	日本原燃調べたら 1 件
1:22:15	ここまで、核燃料が絞り込むのがずっと継続するわけではないと思ってるんですが、あまりリスクはどこに人を立たせるの場合だと思っていたのと、あまり連続的にそんなにこう見なきゃいけないとか、その状態変化がわかりづらいついていうのもかなり議論してあったので今治してるんですけど、もうちょっと考えますが、
1:22:35	ほとんど考えてるのは、その状態を把握するための因子があんまり出てこなかったというのが実態です。
1:22:44	はい、わかりました。
1:22:46	はい。
1:22:54	補足です。
1:22:57	確かに静的なところをずっと何か信号出せとかっていうのはお金なんてないので、そこまで言うつもりはないんですけど、多分ですね、ここに、監視測定の話があまり出てこない。
1:23:13	どうかよくわからない。
1:23:16	ところになっちゃってるのかなという気がするんですね。
1:23:22	当会社のところではダストサンプルがあるんですけど、回収しなけりゃじゃあ見える化ってところだったり、また最後にとりあえずとして入っていたってのがあって、そこで今先祖状態させ、
1:23:40	というような、ちょっとまだ登場人物がちゃんと書いてないからわかりにくいんじゃないかと思えます。
1:23:50	。
1:23:51	そういう意味ではおっしゃる通りで閉じ込めるといっている以上は、通常の経路から外に出てないということを見れば確かに閉じ込めているようにいって判断にはなるかなと思うので、そこも含めてちょっと考えます。

1:24:07	はい。
1:24:15	ちょっとすいません言わせちゃったんですけど、8 ページの下側のところを9 ページの一番上の3分までのところ、
1:24:26	ここは17条関係のことなので、
1:24:31	今回説明いただくものじゃないと思ってたんですけど、なんで入ってるんですか。
1:24:41	日本原燃者です。
1:24:43	設備によるエントリーしたところであるので。
1:24:47	あわせて御説明させていただきたいと思って入れたんですが、
1:24:52	今、繋がりが悪いのはおっしゃる通り範囲かどうかという、我々の希望として入れたいというだけですので、そこがご相談させていただきたいと思ってました。
1:25:05	説明するんだとしてもこの場所じゃないんですよ。
1:25:11	はい、そこも含めて考えます。
1:25:15	その上で徹底する内容として、こういう構成でどうあるべきかどうかっていうのも、ふさわしいところ段階で議論ができないって、整理をし直していただきたい。
1:25:27	映像最初のほうでお話したところではあるんですけど、有効性評価の考え方っていうのを、入口とかでしっかり書いているというところで、そんなときに、前もお話したんですけど同時連鎖。
1:25:43	の扱いが全く今回の資料で触れられてないので、お話になりませんというのがまず第1点。
1:25:52	で、その次に有効性評価のパラメーターとしてどういうことをどう考えましょうかといったこと、或いは評価にあたっての考慮事項。
1:26:04	ないというのが述べられていないので、これは再処理の有効性評価も整理資料で交渉で書かれてる話っていうのがごっそり抜けているということで、
1:26:16	その点を定めているから言っているかもしれませんが、そういったところはしっかりと考え方のところでも述べつつ、必要があると。
1:26:26	思ってます、そういった点で、9 ページの
1:26:33	内容が適切に対応されてるのかっていうことを見なきゃいけないんで、あと入口が足りてないと、ここの部分っていうのができないんですね。
1:26:45	それがタテベが最初言ったようにパラメータだろう。何をどう構造ということで、ので今日はマイクが区議論ができない状態になっています。

1:27:01	と言いつつも入れていっておくべきことは言っただけがいいかなと思うんでお話しすると、温度だったり、体積膨張と言ってるんですけど、結局のところよくわからなくて、
1:27:15	10 ページ後理想的な燃焼による低速度と言ってみたり、最初が完了するまでは継続すると言ってみたり、
1:27:25	ということで、実際の可燃物量お持ちした過剰な評価をしているようにしか思えないんですけど。
1:27:35	結局 12 ページなんか自由体積傍聴要領は云々はっていうところで結局この部分で全量燃やすみたいなの、
1:27:44	ここしか本来はあり得ない。
1:27:47	想定だと思うんですけど、一体何を考えて評価をしてるんでしょうか。
1:27:59	日本原燃石原でございます。
1:28:04	RIS理想的と一遍のあくまで計算式で求められる
1:28:11	全量がオイルパン前面で燃えた場合の計算式での結果、
1:28:18	実験で良い条件右上つけながらやっているときのいわゆる火災の起こり方温度上昇するという形が二つあるんですが、
1:28:28	現状をなぜステージに立てておく一対一で比較ができるかと言われると、そこがなかなか難しいのと、これはいわゆる振れ幅だと思ってまして、その辺がちゃんと確かに整理していくかいかないのは事実だと思いますのでそこは整理させていただきます。
1:28:47	上振れ側等下ブレ側の両事務局担当なるかどうかあれですけど。
1:28:53	この計算式がある厳しいほうの条件という実際燃え方ってのが実態と言いなながらもこれも一つの結果でしかないですので、それが実態なのかという評価が必要な中心的にやるとあまりがたいところもあるので、下ぶれ側の評価だというふうに思ってますので、
1:29:12	そういった形で、どこになるの条件を使ってやるのが、その目的を踏まえた上で、ただし、我々としてどう考えてそれを使ったのかがわかるような流れで書きます。
1:29:24	はい、緊急に層序見ると、1 分単位でどういうふうに物質が流れていってどう対応とるかっていうようなことを評価してるようには見えなくて、
1:29:37	10 倍 20 分でどれだけ動くかというような大枠の話をしているんだとしたら、その値の中での規模感も話をすればいいので。
1:29:47	そういった設定もしっかりと整理をして、その断面でおかしな評価じゃない。
1:29:54	してください。特に原子力規制委員会回位的にはですね、減免のやることは保守的、保守的に現実の話している。

1:30:03	いうことを常に言われてますので、内対応に失わないようにお願いします。
1:30:09	はい。
1:30:14	うん。
1:30:18	総務それ
1:30:26	その辺りが 16 ページで 1 点破碎の規模とかで実態を踏まえている状況のイメージとその評価のほうで考慮している状態とってるのは繋がるように説明いただければと思います。はい。
1:30:41	実査における火災試験って、
1:30:48	どんなもんですかっていうのは 17 ページの行為もやっていましたということですか。
1:30:54	はい。
1:30:55	はい。
1:30:58	という写真の通りの状況でございます。はい、わかりました。
1:31:04	いわゆる
1:31:05	はい。
1:31:09	結局はどれだけ煽ってもなかなか火がつかなかったという燃えても全面的な火災経理はある方向が協議というか、そんなに大きな火種になってない機能しないまま引っかけが継続するという状況だったということです。
1:31:30	図 2 を見る限りは、結構燃えてるそうですね。
1:31:36	これは、本見の効果がかなりでかいと思ってまして、前期の状態では火がつかなかったというのが、それはわかるんですけど、済んだな。
1:31:47	d燃えてないところは、本見架橋部屋を経る形でやってないです。
1:31:56	というので、多分できなかったっていうのはあんまり説明になってないんですよ。
1:32:05	何らか期間は促進するような状態があってそこでいくとした場合にはついていくっていうこと。
1:32:14	着火するとそこである熱が出てくるってあって、それを規定してですね。はい。
1:32:21	そういったところがちょっとどの程度信頼感があるのかっていうのがわかりにくいということで、図 1 のバーナでやったらそれじゃあ燃えないでしょうけど、というような感じがあってですね。
1:32:35	そもそもじゃあこの油って何度になってたんですかとかっていうのはあるんですけど、ちょっとこれだけでそうですかという感じはしないで、そのあたりは整理していいですけど、しっかりと整理して欲しいと。
1:32:51	いうところと、この図 3 で示してるものは工場で整理をしているデータと一緒にですか。

1:33:04	はい。
1:33:09	イシハラですと同じで、安全が 350 ミリやったら一番差がついてないんですが、それ以外も、それから聞いたデータがありますが、
1:33:19	というのもですね、今お話ししたようなところの分析っていうのがら火災質的に見て妥当かどうかというのがちょっと心配に
1:33:29	何ていただいてそれに変えられるような補足説明を作ってください。
1:33:40	それから日本原燃のヨシダと申しますのはちょっと今回はもう火災規模の評価をやってる中でですね、実際の実潤滑油を燃やしたときっていうのはこの図 1 とか図にあるような状況なんですけれども、潤滑油を持っているですね発熱量とかそういうのを評価したものがですね、16 ページのマキ。
1:34:00	もう 1 点ある中で、こういった発熱速度があつて、短時間で燃えてしまうと、この熱量ですね、例えば今の評価としてはですねある一定の空気に全部与えてですね、それで膨張みたというような評価をやっておるんですけれども、
1:34:19	多いです 47 ページ示すように実際燃えてもですね、この上の部分は 100 数十度というところですね、ちょっとこの辺りがですね。
1:34:28	評価としてはですねこの計算式から求めてやるというふうに考えてるんですけれども、ちょっとこのやり方についてですね、もし何か違うとかいうところがあるとですね、ご指摘いただけると、今後整理していく中で非常にを設置しやすくなるんですけれども、
1:34:49	私はアドバイスはしないので、自分で考える安くできることなんですけど、少なくとも今、今の先ほどお話しした通りでもう理論的に求めてる発熱速度で燃えないんですけどそれ維持しますと言っていると。
1:35:05	それでもLと燃焼時間分の時間なんですけど、10 分燃え続けたことでしますとかっていうのは、真西合理的でとても有効性評価とは思いません。
1:35:16	ということです。
1:35:20	はい、わかりました。
1:35:23	もっと実態こうなんですけどっていうところを踏まえながら、評価をして、その上で不確かさとしていう上振れ下ブレお話をすればいいって、その辺で評価を構成していただきたいと思っております、その点からも評価項目が何で、
1:35:40	それについて不確かさを分析するという強化の構成が必要なんですけど、それがその今の設定が曖昧に合っていて保守的別以上ってなっちゃってるんで、議論ができない。
1:35:52	ということだと思ってるので、そこも含めて整理してください。
1:36:01	はい。
1:36:02	日本原燃の瀬川でございます。

1:36:05	はい。少しちょっとヒアリングの場ではちょっとすぐわないんですけどもヨシダがちょっと相談した事項について除く悩みといったところを相談をさせて、相談というかですね、暗闇の実態をちょっとお伝えしたいなと。
1:36:20	思ってるんですけども、
1:36:22	まず今回このDB火災っていうのが条件を特定せずに、何か知らんけれども火災が起こるっていう前提が置かれていますっていうことで、火災の前提としてのその3四つですね燃えるものがいろんなとか酸素があるかとか、
1:36:37	あと何か着火下限がありますといったところが3要素になるんですけども、この油燃やすっていう前提に立った時にはですね、油の温度引火点以上に引き上げておかないと火災っていうのが実際起きないんですね。
1:36:51	17ページの続きになるようにですね上のパラグラフなんぼでもですねひつかないんですね、200°以上の温度まで油の温度が上がっているということが前提に火災の想定としては前提でそこがスタート地点になります。
1:37:09	要は、図2にあるような、この火災っていうのもですね、
1:37:13	油の温度200度まで上げて燃やしているわけではなくて、非常用の油をどうにかも予想等も労則のイトウのようにですね火種になるものがやっぱりないとなかなか火がつかないと、結局何ていうんでしょうね
1:37:29	油がちゃんと蒸発してですね、気化する状態を作ってあげないと気が起こらないというのがそもそもの実態になってます。そういった中で今回のも複数の火災のようにですね、一種非常に工学的な想定でこういったところで無理やり火災を起こしているという前提に立つと、
1:37:45	油の温度は200度を超えてる前提で火災防護することになるんですかねといったところまだ悩んでるところの1点目になります。
1:37:52	で、仮にそうだとすると、引き起こすとですね、火災の状況としては17ページの図にある図にあるようなところではなくて、16ページのちょっと火災規模が何となく見えませんが、理想的な条件でガンガン燃えているような状態に持って当たっている状態ですね。
1:38:11	これは表1のようなパラメータになるんですが、こういった状態になってしまう。
1:38:15	ここの状態での表示決めていただきますと、燃焼時間見ていただくとですね、油の量言っても上限がございますので、これをむやみやたらに戻すとちょっと7節のところは議論があったところですけども、抱えてる利用を踏まマックスの速度で燃やすとですね10分で燃え尽きてしまうと。
1:38:34	最も長いものですね、和歌山側もいっぺん足らずで動いちゃうようなところが課題の評価を行った場合にはこういった時間軸になるんでこの時間軸に対してですね、今日は有効性評価部分はあまり突っ込んで議論をしてないんですけども、

1:38:52	実際の対処の時間といったところ、今度どっかのページにまとめてましたが、やるぞこ着手してから消化ダンパ閉止ができるので 20 分ということで、
1:39:06	多大な火災の条件を置いてしまうと、全くシナリオに乗らないといったところが問題の問題点として一つあって、確認してこの火災を現実的な条件だ部分なんだといったところ、定量化手法でもですねなかなか
1:39:21	その定量化のネタがですね、行っていないといったところのジレンマでちょっと無理やりなですねシナリオを組んでしまっているといったところが実情でございます。ちょっと悩んでいる所お伝えするだけというような形になってしまいますけれどもそんなところでちょっと頭を悩ましております。
1:39:41	はい。
1:39:43	現場は資料 2 でよくわかってますけど、だからこそ、何か変なことやってるんですかという指摘を
1:39:51	しているわけで、
1:39:55	状況東京に応じて対応の整理をしなきゃいけないで、そのうちどういう状況を踏まえた対策なのかということで、その対策の有効性を説明するわけですから、その対策と関係のない
1:40:10	それごとの設定をして評価をすみたいわけですね。
1:40:14	ということで、よく考えていただきたいし、その上で仮に
1:40:20	勢い燃えた場合によってセガワさん言われるように、この試験では絶対燃えないんですよ。
1:40:28	けど、現場ものはこれよりも安いんですよ。
1:40:32	潤滑油なわけで、潤滑油という限りにおいてはどっかに渡すがあり得るわけですよ。
1:40:39	いうところで発熱はあり得るわけですね、200 度まで上がるかどうかというのとはちょっと別ですけど、或いはその温度が上がったものがオイルパンになるまで、まだとても思えないんですけど、といっても実態上燃えないっていうわけではなくて、
1:40:55	何らかの不具合があれば、燃えるわけですが、この点、それを踏まえながら、どのような状態であってということを考えて上で説明いただきたいし、その意味では、
1:41:09	十分足らず或いは二分なり部分なりというので瞬間で燃えて交通していた場合のものと、
1:41:20	20 分かけて燃えたものと、或いは 1 時間ぐらいで燃えるようなちょっとゼロで燃えたときと、それぞれがどのような法律の違いがあり、対策としてどうなのかというようなことをちゃんと説明していただきたいと思って。
1:41:37	じゃないとですね 10 分 10 分で

1:41:43	検知し、止めていくと接していくという対策が時間として適切なのかどうかという判断は我々できないんですね。
1:41:52	皆さんも何でこれでいいんだと思っているのかよくわからないんです。
1:41:59	おそらく十分でもに最終的に 20 分でも意味があると思っているというのはそれぐらいのケーブルがあると思っているか。
1:42:10	であって、もう一丁から間に合わないでもいいんだと思っているわけではないと思うんですよ。
1:42:16	その辺りをですね国会のないようにしっかりと書いていただきたいという。
1:42:22	はい。
1:42:23	日本原燃の瀬川でございます。長期いたしましてありがとうございます。
1:42:33	はい。
1:42:36	しかし、
1:42:38	で、そういった点を考えるとですね評価の項目として
1:42:46	11 ページの判断基準とか見ると、
1:42:51	定性的な判断基準しか書いてなくてそれとは別に放出量の判断基準が書いてあるんですと、結局、消火閉じ込めて放出量の評価でした。
1:43:03	その有効設定について詰めていきたいと思うんですよ。
1:43:07	はい。
1:43:08	なので、御分けるかよくわからなくなっていてっていうのはもう最初から私お話ししていることで、なので、こういった対応において、放出量の挙動がどう変わるのかっていう今お話ししたようなところをちゃんと評価の中でも表現していく中で、
1:43:25	10 分の間でやれば、こういうようなところ、こういうような状態については防ぐことができる。
1:43:32	というようなことは話をしていただきたい。
1:43:40	はい、わかりました。
1:43:45	それを踏まえて、12 ページの不確かさの影響評価っていうのがないといけないので、これ全くもって全然二つが作業がなっていないので、セガワ会議みたいですから、しっかりとし直してください。
1:44:05	イシハラでございますんではSIATOL全体的に軸足が同時のかっていうことをはっきり確か書いてないところもあるので、ちょっとそこを整理した上で、
1:44:17	宴会します。
1:44:20	はい。

1:44:22	それで、評価のところはもっといろいろと書き込んでいただければいっぱいいたことはあるんですけど、その事象のレベルだとあんまり行ってもしょうがないんで、さらにおかしな弁護
1:44:36	3点ぐらい引き続きお話ししますが、
1:44:40	13ページの4ポツの必要な要員が、
1:44:44	再処理の41名って何でしょう。
1:44:49	それを見ようとするのですね、23ページ。
1:44:53	今日、
1:44:58	技術的能力の体制の説明をするような事象がいきなり出てきてですね。
1:45:05	一体何なんだっていう感じになるんですけど。
1:45:09	まず、有効性評価で示していただかなきゃいけないのは、手順との対応関係で言うVちゃ。
1:45:18	なんですけど、何でもいいですか。
1:45:25	すみません。
1:45:27	抜けてますね。はい。
1:45:30	この手順において直接再処理の人が関与することないんですよ。
1:45:36	はいないです。
1:45:37	結局直接の有効性評価で別の外回りの人達ってということなので、
1:45:44	その場合は有効性評価で最初には入れてないはずなんです。はい。それはそうですね、これまで御説明したときに直接的にMOX燃料加工施設の重大事故に対処するのは、MOXの人間だけです。ちょっとここで言ってる要員の対処の
1:46:00	範囲をよく整理をして、再処理等々がおいてください。
1:46:14	また同じなんですけど、燃料とかもですね、何のための燃料なのかっていうのがはっきりしないと
1:46:23	何だかわからないですし、
1:46:27	軽油貯槽二つ書いてますけどこれはMOX専用ですか。
1:46:33	イシハラです。共用ですね。ですよ。そうする対応、これで料でありますって言っても嘘になりますので、
1:46:45	はい、えっとおっしゃってることは理解しているんですが、そこは、
1:46:53	この合わせ技で崩壊使う人がいればそれも含めて、活断層だっけますっていう説明をしないといけないと思ってるんですが、その一つがEの紹介、一番根本的な問題で、
1:47:09	続いてもう単独のときには当然それは間に合いますよね。居るの括弧で書きつつ、表示はこっちで評価をして足し合わせても大丈夫です。

1:47:20	いう評価をしているので、
1:47:22	そういった点でもまだ記載が、
1:47:25	今後として足りてないということなんだと思います。
1:47:31	はい。
1:47:32	そこは同時に確かに同時連鎖をちょっと書いてなかったのはこちらのミスではあります、
1:47:40	なぜ施設の中の同時点とか連鎖を考えたんですけど。
1:47:44	再処理の同時も噴かなきゃいけないってことですか。
1:47:48	従来の形でいいんですけど、共用している限りにおいては共用で悪影響を及ぼさないということが言わなきゃいけないので、
1:47:58	それはそれよりは分だけ使うところミックス型合わせにボックス部分もあります、というようなことができるってことで、
1:48:08	はい。
1:48:11	若干規制制度の再処理側も自分とこ世界的なかつたとなつたので、あえて書かなかつたんですけど、そこはちょっとできています。
1:48:21	MOXが特定できてないから大丈夫そうですね、はい、わかりました。ちょっと調整した上で整理をします。
1:48:36	大分時間過ぎちゃつたので、なんですけど、後半にいくに従ってどんどん
1:48:45	室側ぐらいコメントもなくなりという状態なんですけどどういうふうに進めていかれるおつもりでしょうか。
1:49:05	すみません、マキでございます。本日、20、
1:49:11	4日火曜日ですけど、20。
1:49:14	最後、30ね。
1:49:17	この件の反映したものっていうのを、25日ですね、明後日にもう一度、
1:49:30	確認をしていただけないかなと思ってまして。
1:49:33	それで29日の資料を26日にお出しするというふうなスケジュール感でおりますが、
1:49:42	いかがでしょうか。
1:49:45	。
1:49:52	今日の状況と合わせると、そのスケジュールできっちりと書き込んだものが出てくるっていう安心感も全くないんですけど。
1:50:01	やられるということであれば、ごみはしませんので、非常に聞かせいただきます。
1:50:09	いうことかとは思いますが。一方で、これまで皆さん言われたのは整理資料意識付けと、

1:50:18	いう意気込みで言われたはずなんですけど、成果物から全然レベルが違うんですが、
1:50:24	結果として、
1:50:27	週明けの会合はこの資料のブラッシュアップ程度で対応するっていうことでですね。
1:50:36	はい。
1:50:37	そのつもりでございます。無理せずに着実に一步ずつ進んでいただきたいと思いますので、今日話をしたところ、できる限りしっかりと対応しています。
1:50:52	いただければと思うんですけど、多分十分に対応できなくて、細胞では宿題も幾つかあり得るかと思うんですが、まあそういったところも含めてですね、或いは前回の会合での採用ということで整理資料に取り込んでいくという対応も、
1:51:10	進めていただいて、次等進めばいいのかって言うかというのが明確になるようにしていただければと思っています。
1:51:22	そういう点では他の整理資料も含めて、スケジュール感をどのタイミングでどこまでのレベルのものを出すのかといったようなこと。
1:51:32	提示してくれてっていうのをもうファイルをヶ月前ぐらいになるかもしれませんが、お話したと、なかなかそれにみあった情報を提案しなさいということなんで、今日の話も含めて、
1:51:49	改めて整理をして
1:51:52	また、解剖の物性進め方といったことも聞かせいただければと思っています。
1:52:02	はい、日本原燃の牧でございますほとんどおっしゃっていただいた通りでございますけれども、今回のコメントを含めて、29日の段階では今の資料の見直しということで、
1:52:17	臨まさせていただきますと思います。それからあと先週につきましては各担当官でお話をさせていただいている通りですけれども、今日の状況も踏まえて、スケジュールについてはさらに調整をさせていただきたいというふうに思います。
1:52:34	よろしくお願いします。
1:52:37	はい。
1:52:39	規制庁ヒラノです。
1:52:43	来週の会合のロジ的な話だけなんですけども、上げるのは、この資料のブラッシュアップ版だけということなんですとか、それとも電解選定のところの話があって、またも整理しようまでいかないとは思ってるんですけども、
1:53:00	何かしらの記載を充実化させたものがやっぱりの参考資料というかですね審査の

1:53:06	参考資料みたいな感じ優秀でつくのかとかマスクだところがちょっとロジ的なところで気になってるんですけどもいかがでしょうか。
1:53:16	イシハラでございます。先ほど話も踏まえてすみません私が不可で考えたい姿ですが、
1:53:25	全体の評価の方針基本的な考え方と選定の部分のエッセンスをこの資料に書くということで、その中で全体を網羅的に指名することで、前回の資料のブラッシュアップ盤とかは特に新知見つもりではなかったです。
1:53:41	状況理解しました。
1:53:48	すみません、今のに補足といいますか、追加させていただきますと、ちょっと先週の金曜日にですねこちらのトラブルで進めてなかったんですけども、火災の方もですね、コメント。
1:54:05	対応っていうのが残ってると思ってまして、そちらのほうについては今後ちょっとスケジュール意味は、確認できていないんですけども、
1:54:18	それをこれとは別にコメント回答という形で審査会合で今お返しするのかわかって言うところの部分を少し
1:54:32	調整させていただきたいなと思っているところでポコッているかなと思ってます。
1:54:42	はい。パターン。
1:54:44	あまりヒアリングに正当的調整をしてください。
1:54:49	はい、承知しました。
1:54:53	豊島形状タテベそれではMOX燃料加工施設の新規性基準に書かれていたのヒアリングについてお願いしたいと思います。お疲れ様でした。ありがとうございました。